



積極的に整備を行うべきと考えるが市の考えは。(牧野)

答 南北方向のアクセス向上に向けては、財政状況を見ながら、都市計画税等を含め、積極的に整備を進めていきたいと考えている。

## 塩尻産 ブランドと 資源の活用

◆ワインガイド育成は

問 ワインを活かした魅力発信と塩尻のホスピタリティ向上を目指して、ワインガイド育成の予定は。(丸山)

答 ワイナリーフェスタでは地元やポランティアに観光案内や湯茶接待のおもてなしの協力を得ている。今後、ワインガイドの育成は冬から翌年



昨年のワイナリーフェスタの様子



北海道池田町のワイン城

夏にかけて行い、知識を観光客の皆さんに還元してもらえよう計画している。

◆柿沢苗圃の活用

問 ブドウ栽培から手掛け、ブドウ畑とアルプスを一望できる展望レストラン塩尻ワイン城を提案するが。(五味)

答 極めて具体的な活用手段であり検討していく。

◆地域資源の見直し

問 穂高岳が美しく見える塩尻市の宣伝について具体的にどのように行っているか。(五味)

答 現在市全体のパンフレットを作り直し10月に完成の予定。「穂高岳が美しく見える街塩尻」を宣伝していく。

◆地産地消

問 JA塩尻市の農産物直売所建設構想支援を。(五味)

答 複合型農産物直売所建設場所は開発行為などの許認可

を得るよう相談支援に努める。

◆山賊焼

問 元祖山賊焼PRを。(五味)

答 塩尻名物として定着を図る。地産地消の推進を

◆地産地消の推進を

問 食育活動推進プログラムでは学校給食における農産物の市内産割合を平成26年度に野菜は50%果物は25%を目標としているが現状は。(山口)

答 過去5年間の利用率は野菜が20%台、果物が15%台で昨年は7.5%と減少した。

問 旬の農産物は健康によく、安全性や温暖化対策にもつながる。積極的に取り組むべきである。生産者から消費者への情報発信や流通システムの構築が必要では。(山口)

答 生産者・学校教育現場・JAと協議を重ね、調整を進めていく。



地産地消を取り入れた学校給食

## 健全財政の 維持を

◆市の財政状況は

問 本市の財政は「破綻する道」をたどっているのか、それとも健全財政を維持しているのか。

(牧野)

答 判断指数は、①「実質赤字比率」②「連結実質赤字比率」③「実質公債費比率」④「将来負担比率」の四つからなっており、①、②とも黒字であり、③は県内類似団体と比較しても、最も低い数値となっており、④も92%とまったく問題ない状況であり、今後も健全財政を堅持していく。



受賞が相次ぐ塩尻産ワイン